

いすぐみだより



あっという間に月日が経ち、りす組で過ごすのも残り1か月となりました。入園した時には、まだ寝返りもできなかったり、「お」しか言えなかったり、泣いて訴えることが多かった子どもたちがすっかり大きくなり、はいはいやずり這い、歩行ができるようになり、笑顔でたくさんの言葉を話しています。保護者の方には、1年を通して新型コロナウイルス感染症による予防策へのご協力ありがとうございました。最後の1か月、1日1日を噛みしめ、大切に過ごしていきます。

きた〜っ!!

今年は124年ぶり、明治30年以来の2月2日の節分でした。子どもたちは、スタンプとクレヨンで作ったお手製のお面を付けて、準備万端。カラーボールをポンポンと投げ、豆まきの練習もばっちりです。そこへ鬼が、そろりそろり…とやってきて「やあ!!」と顔を出した途端、mさんとsさんはびっくり。保育者のもとへ猛スピードで逃げ、助けを求めていました。保育者が「おには〜そと。」と豆を投げ、鬼退治。Oさん、Sさんは何が起きているのかわからないようで、



開いた口がふさがりません。そのころAさんは…何も知らずスヤスヤと夢の中。今年もみんなが健康で幸せに過ごせますように。

【今月の予定】

- 3日(水) ひなまつり
- 15日(月) 身体測定・園医健診
- 25日(木) クラス移動

※月に一度、避難訓練を行います。



食べるの大好き

食べることが大好きな子どもたち。最近では食べものの描いてある絵本を読むと絵の食べ物をつまみ、食べる真似をしています。MさんやSさんは友だちへパクッ、保育者へはマスクの上から口へズボッとおすそ分けをしてくれ、食べてもらうことを楽しんでいます。Rさんは何度も何度も絵本と自分の口を往復して、終わった時には満足そうな顔をしています。またOさんはブロックを使って、ゴクゴクとお茶を飲む真似をしたり、保育者と乾杯を楽しんだりしています。そこへmさんやsさんが“入れて〜。”と両手にジュースを持ってやって来て、「かんぱーい。」とりす組の宴会が始まります。両手のジュースを一気に傾け、良い飲みっぷりです。

お友だちが大好きな子どもたち。まだまだ何でも口へ運んでしまうAさんにはたくさんのおもちゃの贈り物が届きます。ただ、Aさんにも好き嫌いはあるようで布でできた食べもののおもちゃはプイッと顔を背けたり、ポイッと手で払ったり…。それを見た子どもたちは“なんで?” “おいしいよ?” というように、また何度も贈り物を届けに来るのです。

食べたふりをしてみんなで笑い合うのも楽しいけれど、やっぱり給食が大好きな子どもたち。たくさん食べて、これからもどんどん大きくなってね。

